

令和7年7月25日

第1学年の保護者の皆様

苫小牧市立勇払中学校長 新倉 順治

令和7年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月17日（木）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

令和7年4月17日（木）

(2) 調査対象

市内中学校第1学年

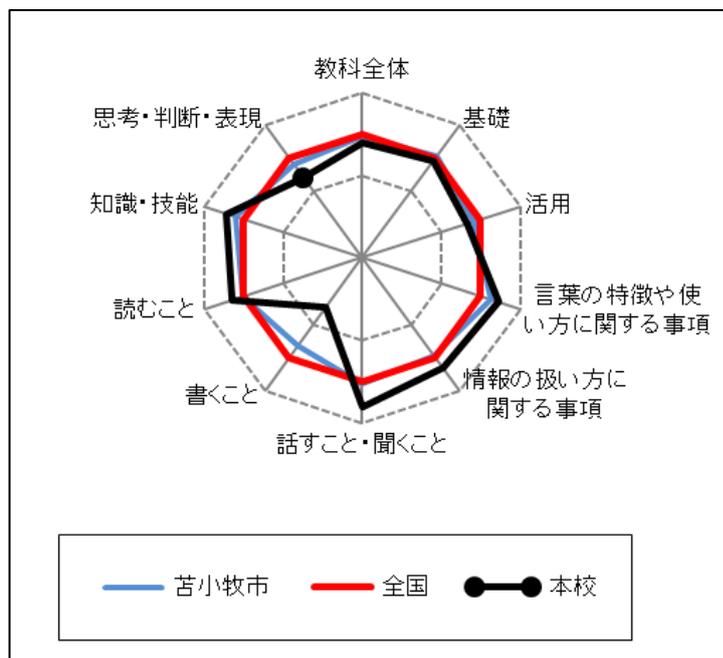
(3) 検査内容等

- ① 国語科及び数学科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 標準学力調査（目標準拠評価方式）を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科

- ① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）

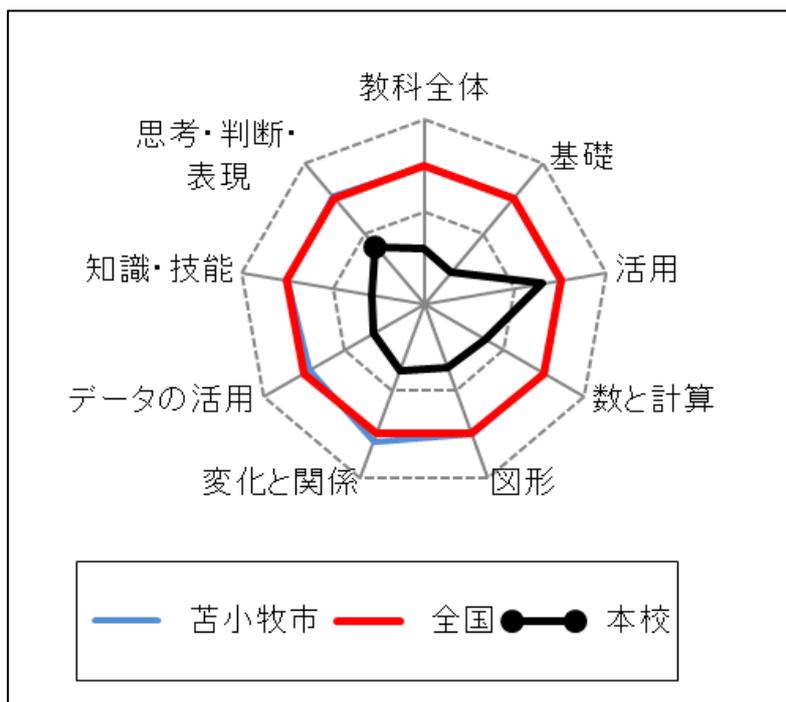


②考察

- ◎ 特定の領域を除き、全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好といえます。
- ◎ 「話すこと・聞くこと」「言葉の特徴や使いに関する事項」は良好ですが、「書くこと」に課題が見られます。
- ◎ 学力向上に向けた取り組み
 - (学校) 授業で「書く活動」を多く取り入れ個別指導や相互評価の場を多く取り入れていくと共に他の教科とも連携して、日ごろから書く機会を増やします。
 - (家庭) 家庭学習では漢字練習や文法の復習など知識事項を定着させると共に、読解力や記述力を高めることを意識して、ワークを繰り返し学習するように伝えています。

(2) 数学科

① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）



② 考察

- 全国平均を下回っています。
- 問題の内容では、「基礎」、「知識・技能」で課題がありますが、「計算」や「図形」、「変化と関係」など、中学校での土台となる部分も課題となっています。
- 学力向上に向けて
 - 【学校】 授業では、基礎基本が身に付くように、基本問題において考え方の定着を図っています。その中で、既存の考え方を復習し、正確に解けるように補強する時間を多く確保しています。
 - 【家庭】 まずは、毎日数学の勉強に取り組むことが大切です。基本的な問題でかまいませんので、一定の時間で正確に解くことを意識して行ってほしいと思います。ワークに取り組む際には、参考書を作るつもりで空いている部分に大事な内容や間違えた理由などを記入することも重要です。2回、3回とやり直し、何も見なくても全問正解できるようになるまで繰り返し取り組むことを意識して家庭学習に取り組むように伝えています。